

## 第3学年 国 語

### 1 学習の進め方

- (1)漢字テストを定期的に行い、漢字の学習に取り組みます。
- (2)教科書に準拠して授業を進めます。
- (3)自分の考えや友達の発言を、ワークシートに書きましょう。
- (4)わからないことは積極的に質問して理解に努めましょう。
- (5)班での話し合いや相談の時間を生かして、自分の考えを広げたり深めたりしましょう。
- (6)スタディサプリを使って言語に関わる力を養いましょう。

### 2 学習(授業)上の注意点

- (1)授業に必要なものを忘れないようにしましょう。  
…教科書、国語ファイル、ワーク、国語便覧(ロッカーに常に入れておく)、  
クロームブック、書写では鉛筆、筆ペン、習字道具など
- (2)字は楷書を使って、濃く、大きく、ていねいに書く習慣を身につけましょう。
- (3)提出物はロイロノートで提出してもらいます。しっかり出しましょう。
- (4)自分から積極的に学習や課題に取り組みましょう。
- (5)班での話し合いでは、たくさん発言しましょう。
- (6)教室は失敗をする場所です。失敗や間違いを臆せず自分の考えを発表しましょう。

### 3 家庭学習の進め方

- (1)日頃から読書等を通して、読む習慣をつけましょう。
- (2)漢字の知識や文法については各自で復習して知識の定着を図りましょう。
- (3)ワークシートを見直したり、ワークでの演習をしたりすることで復習に努めましょう。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1)教科書、ワークシートを見返して、授業内容を思い出しましょう。
- (2)ワークで問題演習を行いましょう。(繰り返し解くことをおすすめします。)
- (3)暗記をする部分は暗記をし、理解する部分については、内容を何度も見返し、十分に理解できている状態までもっていきましょう。
- (4)漢字は正しく書けるように繰り返し練習しましょう。
- (5)わからないことがあったら、先生や友達に質問して理解できるようにしましょう。
- (6)特に、漢字、文法、言語に関わる内容は繰り返し復習に努めましょう。

## 5 3年生での学習内容…授業時間は、週3時間 年間105時間

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	1 深まる学びへ	10月	5 自らの考えを
5月	2 視野を広げて	11月	6 いにしへの心を受け継ぐ
6月	情報社会を生きる 3 言葉とともに	12月	読書に親しむ
7月	読書生活を豊かに	1月	7 価値を生み出す
8月		2月	8 未来へ向かって
9月	4 状況の中で	3月	8 未来へ向かって

※上記以外に書写の授業があります。

## 6 評価・評定について

評価とは、国語で身につけてもらいたい3つの観点について、**A・B・Cの3段階**でつける成績のことです。評定とは、この観点の総合評価で、**1～5の5段階**でつけたものです。

### <観点別評価と評価材料>

#### 観点1 知識・技能

- ・我が国の伝統的な言語文化に親しみ、言葉の特徴や使い方、漢字、情報の使い方などについて理解し正しく用いる。また文字を正しく整えて速く書く。  
(定期考査、漢字テスト、書写等)

#### 観点2 思考・判断・表現

- A「話すこと・聞くこと」…相手や場面に応じ、適切に話すこと、表現の工夫を評価して聞くこと、問題解決に向けて話し合うことで、自身の考えを深める。  
(発表、スピーチ等)
- B「書くこと」…目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書き、また文章を書くことで自身の考えを深める。  
(定期考査、ワークシート、作文等)
- C「読むこと」…目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方を評価しながら読み、読書を通して自己の向上を目指す。  
(定期考査等)

#### 観点3…主体的に学習に取り組む態度

- ・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め国語を尊重する。  
(定期考査、提出物の提出状況・内容等)

## 第3学年 社会科 (公民的分野)

### 1 担当教員

羽鳥 聖子

### 2 学習の進め方

- (1) 教科書に準拠して授業を展開する。
- (2) 単元によってグループで話し合いや意見を交換する時間を設ける。
- (3) 状況に応じて小テストを実施する。

### 3 学習(授業)上の注意点

- (1) 授業は、授業プリントで学習を進めて、専用のファイルに保管する。
- (2) 公民と各分野の復習内容は、それぞれ別にファイリングしましょう。
- (3) 授業中に板書したこと、説明したことのうち、必要と思うことは積極的にメモをしてください。
- (4) 重要語句はマーカー・色ペンでチェックする等、授業プリントのまとめ方を工夫しましょう。
- (5) 話し合い活動や学びあい活動には積極的に参加しましょう。

### 4 家庭学習の進め方

- (1) 復習をする場合には、授業プリントと教科書を照らし合わせよく確認し、太字の重要語句は書けるようにしましょう。学習したことは、早いうちにワーク及びスタディサプリ等、多くの演習問題に挑戦しましょう。
- (2) 予習をする場合には、教科書をよく読み、太字で表記されている重要語句を確認するようにしましょう。
- (3) テレビや新聞、インターネットなどでニュースを見て、社会的事象について考えましょう。
- (4) 定期考査前には学習したことを(自分で)ノートにまとめてみることも有効な勉強方法です。授業プリント、教科書、ワークを活用して「ノートまとめ」をしてみましょう。

### 5 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業プリントを中心に基礎・基本的な知識や技能を身に付けましょう
- (2) 計画的にワークやスタディサプリの問題に取り組み、知識が定着するようにしましょう。
- (3) 単元は知識を関連させて、総合的に理解することも大切です。自分の言葉で学習内容を説明できるようにしましょう。

**持ち物** 教科書・ファイル・授業プリント・chromebook、(復習時は、各分野の教科書と地図帳)

※持ち物は全てロッカーに置いて構いませんが、授業開始の時には机上に準備した状態でいてください。

### 6 3年生での学習内容(社会の授業時間は、全体で週4時間、年間140時間)

月	学習内容	月	学習内容
4月	第1部 現代社会	10月	第2部「政治」地方自治
5月	第2部「政治」日本国憲法	11月	第3部「経済」経済活動、企業
6月	第2部「政治」基本的人権の尊重	12月	第3部「経済」金融、財政
7月	第2部「政治」三権分立、民主政治	1月	第4部 国際社会 地球的課題とその解決
8月		2月	第4部 国際社会 問題演習、3年間のまとめ
9月	第2部「政治」国会、内閣、裁判所	3月	第5部 課題探究学習

### 7 評価・評定について ※歴史と公民を合わせて社会科としての評価になります。

評価とは社会科で身に付けてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で1～5の5段階でつけたものです。

#### <観点別評価と評価材料>

#### 観点1 社会的事象への知識・技能

日本の国土と歴史、社会の仕組みに関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。

(評価材料) 定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

#### 観点2 社会的な思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、公民や歴史に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

(評価材料) 定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題

[パフォーマンス課題含む]など

#### 観点3 主体的に学習に取り組む態度

授業やグループワーク、調べ学習などに積極的に取り組み、よりよい社会の実現のために課題を主体的に解決しようとしている。学んだことをいかし、活用できている。

(評価材料) 授業内での発言、グループでの話し合い活動に積極的に参加しているか、

授業プリント・ワーク等の提出物、小テスト、その他状況に応じて課される提出課題[パフォーマンス課題含む]など

## 第3学年 社会科(歴史的分野)

### 1 担当教員

田中 秀幸

### 2 学習の進め方

- (4) 教科書に準拠して授業を展開する
- (5) 単元によってグループで話し合いや意見を交換する時間を設ける
- (6) 状況に応じて小テストを実施する

### 3 学習(授業)上の注意点

- (6) 授業では各自でノートを準備する。2年生の時に使用したものを継続して使用してください。公民はプリントを使用します。
- (7) ノートには板書したこと及び、説明の中で必要と思われることをメモしてください
- (8) 話し合い活動には積極的に参加しましょう

### 4 家庭学習の進め方

- (5) 授業内で書いたノートと教科書を照らし合わせて復習し、ワークの問題で確認する。
- (6) 予習をする場合は、教科書をよく読んでおく
- (7) テレビや新聞、インターネットなどでニュースを見ておきましょう
- (8) タブレットのスタディサプリも復習で活用してください

### 5 テストに向けての学習の取り組み方

- (4) ノートと教科書を照らし合わせ振り返りましょう。ワークなどで問題をたくさん解きましょう。
  - (5) 用語や地名などを暗記するだけでなく、それぞれの単元について説明できるように、理解していくことを心がけましょう。
- (3) 学習したことを誰かに説明できることを目標にしてください。

### 6 3年生での学習内容(歴史は週1時間)

月	学習内容	月	学習内容
4月	近代国家への歩み	10月	高まる民主主義の意識 戦争に向かう世論
5月	近代国家への歩み 帝国主義と日本	11月	戦争に向かう世論 第二次世界大戦の惨禍
6月	帝国主義と日本 アジアの強国の光と影	12月	第二次世界大戦の惨禍 敗戦から立ち直る日本
7月	第一次世界大戦と民族独立の動き	1月	敗戦から立ち直る日本 世界の多極化と日本の成長
8月		2月	世界の多極化と日本の成長 これからの日本と世界
9月	第一次世界大戦と民族独立の動き 高まる民主主義の意識	3月	

### 7 評価・評定について ※歴史と公民を合わせて社会科としての評価になります

評価とは社会科で身に付けてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

**観点1** 社会的事象への知識・技能

日本の国土と歴史に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。

(評価材料) 定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

**観点2** 社会的な思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理や歴史に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

(評価材料) 定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

**観点3** 主体的に学習に取り組む態度

授業やグループワーク、調べ学習などに積極的に取り組み、よりよい社会の実現のために課題を主体的に解決しようとしている。学んだことをいかし、活用できている。

(評価材料) 授業内での発言、グループでの話し合い活動に積極的に参加しているか

ノート・ワーク等の提出物、その他状況に応じて課される提出課題など

## 第3学年 数学

数学の授業は、週4時間です。年間を通して少人数の授業を行います。

### 1 学習の進め方

1時間の中にできるだけ多くの問題を扱うようにする。

- (1) 講義・・・教科書の内容を整理し、問題を解きながら理解する。  
途中の過程を確実に書くようにする。
- (2) 問題演習・・・教科書の問や黒板に書いた問題を解く。
- (3) ワーク学習・・・授業の進み具合に応じて、進める。
- (4) 宿題・・・ワークは授業の進み具合に応じて宿題とする。

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) ノートを取る。考えるところはしっかりと考えることが大切。
- (2) 解らないことはそのままにせず、解るまで質問する。
- (3) 途中式を必ず書く。
- (4) 間違いを直すときは、その理由を大切に。必ずやり直す。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) ワークは授業の進度に合わせて進める。授業の進み具合に応じて宿題とする。  
毎日の復習として取り組む。
- (2) ワークなどの課題は丁寧に取り組む。間違えたときは、もう一度取り組み、間違いを見つけ、直す。解らないときは答えを見て考えてよい。答えだけを書くのではなく、途中の計算過程を書く。

※ワークの進め方※

- ① 自分で解く。答え合わせをする。
- ② 間違えた問題は、どこを間違えたか確認する。
- ③ 解らないときは解答を見ながら考える。
- ④ 解らない問題は先生に聞く。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 試験範囲の問題をやり直す。
- (2) ノートで語句の意味やポイントを確認する。
- (3) 時間があれば、さらにいろいろな問題を解くことにチャレンジする。

## 5 3年生での学習内容（授業時間は、週4時間 年間140時間）

月	学習内容	月	学習内容
4月	第1章 多項式	10月	第5章 相似な図形
5月	第1章 多項式 第2章 平方根	11月	第6章 円 第7章 三平方の定理
6月	第2章 平方根	12月	第8章 標本調査
7月	第3章 2次方程式	1月	3年間のまとめ 演習問題
8月	夏休みのため 授業なし	2月	3年間のまとめ 演習問題
9月	第3章 2次方程式 第4章 関数 $y = ax^2$	3月	3年間のまとめ 演習問題

### 6 評価・評定について

- (1) 観点別評価は、下記の項目・割合で算出し達成度によりABCで評価します。

観点	観点1	観点2	観点3
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	計算やグラフを書くなど、数学的に処理することができるか。	先を読む力、根拠を説明する力など身に付けているか。	数学的活動の楽しさや数学の良さを実感し、活用としているか。
評価材料	☆定期考査 ☆小テスト等	☆定期考査 ☆小テスト等 ☆レポート	☆定期考査 ☆小テスト等 ☆ワーク ☆提出物 ☆テスト振り返り

- (2) 評価は観点を算出し、達成値により評定を算出します。

### 7 その他

- (1) 長期休業中等に状況に応じて補充教室を行います。

## 第3学年 理科

### 1 担当教員

理科Ⅰ…小林 順子（週3時間） 理科Ⅱ…中村 剛（週1時間）

### 2 学習の進め方

- (1) 【単元1】「化学変化とイオン」（化学分野）…小林
- (2) 【単元2】「生物の連続性」（生物分野）…小林
- (3) 【単元3】「運動とエネルギー」（物理分野）…小林
- (4) 【単元4】「地球と宇宙」（地学分野）…中村
- (5) 【単元5】「地球と私たちの未来のために」…小林・中村

### 3 持ち物について（理科Ⅰ）

- (1) 教科書、ノート、資料集（理科便覧）はいつも用意してください。  
(3点セット)
- (2) ワークは、指示をしたときに用意をしてください。ワークの答えは、1回目は学習ノートに記入をし、2回目以降は、ワークの本体に記入してください。提出する場合は、学習ノートを提出してください。
- (3) 筆箱の中に、いつものりと定規を準備しておいてください。

教材は4点ともロッカーに置いておいてOKです

### 4 授業では…

- (1) 話をよく聞き、板書以外にメモをとりましょう。
- (2) 授業で配られる④プリントは、基本的に「すべてノートに貼る」です。  
貼り方などは、授業で指示をします。
- (3) 実験室を使用するときは、使用上の注意にしたがってください。また、実験・観察ごとに薬品や実験器具・装置の使い方などの注意があるので、しっかりと確認をしていきましょう。
- (4) わからないことはそのままにせず、積極的に質問をしましょう。  
(授業中に質問できないときは、授業後や昼休み、放課後を利用する。)
- (5) 一週間に一回程度、小テストを行います。（理科）

### 5 家庭学習の進め方

- (1) 理科では、教科書の予習をする必要はありませんが、実験の前などは、実験の方法などを読んできてもらうときもあります。
- (2) 授業の復習が大事です。教科書をよく読み返し、ノートやプリントを見直したり、ワークで問題を解く練習などをしたりしましょう。
- (3) 自分で調べてもわからないことは、そのままにせず、積極的に質問してください。
- (4) 小テストの振り返りや定期テストのやり直しを行きましょう。
- (5) スタサブに取り組みましょう。
- (6) ワークの1, 2年生の復習に取り組みましょう。（定期考査に出題）

### 6 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、理科便覧、ノート（プリント含む）をよく見直しましょう。
- (2) 実験・観察の手順や、注意点、なぜそのような操作を行うか、何がわかるのか等をよく理解し、ノートにまとめましょう。
- (3) ワークは1回目を学習ノートに、2回目以降をワーク本体で行いましょう。ワークの答え合わせは、○付けだけでなく、正解を確認し、解説もしっかり読み、必要なことは、メモをしておきましょう。

（1, 2年生の復習範囲から15点～20点分出題します）

- (4) 重要な用語は、覚えるだけでなく、説明できるようにすることで理解が深まります。
- (5) 計算や作図、グラフの問題は、繰り返し何度も行うことが大切です。

### 7 評価について

●主体的に学習に取り組む態度 ●思考・判断・表現 ●知識・技能

3つの観点別でA・B・Cの三段階で評価します。

A…達成度80%以上 B…達成度50%～80%未満 C…達成度50%未満

その後、これらの観点から5段階で評定をつけます

5…達成度90%以上 4…達成度80%～90%未満

3…達成度50%～80%未満 2…達成度20%～50%未満 1…達成度20%未満

〈実験プリントの評価〉 A→5点 A- →4点  
B →3点 B- →2点 C→1点 ×→0点

●主体的に学習に取り組む態度

・自然の事物・現象に進んで関わり、学習に粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしているか。  
～評価材料～①授業態度や実験の取り組みのようす

②授業ノート

③実験プリント、レポート課題

④ポートフォリオ（理科Ⅰ）

●思考・判断・表現

・実験や観察した結果を基に考察し、それらを表現するなどして問題解決しているか。  
～評価材料～①実験プリント、レポート課題

②定期テスト、小テスト ③ポートフォリオ

●知識・技能

・基本的には科学的な概念や法則を理解しているか。  
・実験器具を正しく、安全に使うことができるか。  
・実験や観察の結果などの情報を丁寧に記録、整理し、活用することができるか。

～評価材料～①実験プリント、レポート課題

②定期テスト、小テスト

③授業ノート（単元や章のまとめ）

④実技テスト

## 第3学年 音楽

### 1 学習の進め方（歌唱の題材例）

- (1) 前時の振り返り・本時の予定の確認
- (2) 発声練習、校歌
- (3) 合唱練習（パート、全体）
- (4) ワークシート記入
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) 苦手なことにも前向きに一生懸命取り組みましょう。
- (2) 周りに遠慮せず、豊かに自己表現をしましょう。
- (3) 楽譜やワークシートにしっかりメモをしましょう。
- (4) ワークシートや教科書の内容、わからないことをそのままにしないようにしましょう。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) 授業時間内に未完成な部分は宿題となります。提出物は期日を守りましょう。
- (2) 実技テスト前は、家庭でも確認の練習をしましょう。  
インターネットの動画や音源を利用して実技の練習をするのも良いと思います。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 基本的にワークシートの内容や教科書に書いてあることを出題するため、配布されたワークシート等は紛失しないように管理しましょう。
- (2) 音楽記号や語句は正確に覚えられるようにしましょう。
- (3) わからないことはそのままにせず、質問しに来てください。

## 5 3年生での学習内容（授業時間 週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	歌唱：花、音楽史	10月	歌唱：混声四部合唱（課題曲、各クラスの自由曲） 実技テスト（課題曲）
5月	歌唱：花、音楽史 実技テスト（花）	11月	器楽：ギター（コード演奏・弾き語り） 実技テスト（ギター）
6月	鑑賞：ブルタバ（モルダウ） 創作：旋律創作	12月	鑑賞：ポピュラー音楽
7月	鑑賞：カンタータ「土の歌」 歌唱：混声四部合唱（課題曲、各クラスの自由曲）	1月	鑑賞：ポレロ
8月	夏休みのため 授業なし	2月	歌唱：校歌、卒業式の歌
9月	歌唱：混声四部合唱（課題曲、各クラスの自由曲）	3月	歌唱：校歌、卒業式歌

### 6 評価・評定について

評価とは、音楽で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点を総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

#### <観点別評価と評価材料>

#### 観点1 【知識・技能】

- 定期テスト
- 実技テスト（姿勢・発声・発音・音色などの歌や楽器に必要な技能）
- 創作作品
- 提出物（ワークシート）

#### 観点2 【思考・判断・表現】

- 定期テスト
- 提出物（ワークシート）

#### 観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

- 授業への取り組み（ワークシート）
- 提出物（ワークシート、振り返りカードなど）

## 第3学年 美術

### 1 学習の進め方

- (1) 基本的技法を身に付ける。
- (2) アイデアをたくさん練る。
- (3) 制作の順序を考え、見通しを持つ。
- (4) 材料や用具を生かし意図に応じて工夫して表す。
- (5) 他生徒の作品の良さ、自分の作品の良さに気づき尊重する。

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) 教室に忘れ物をしない。（授業中は取りに行きません）
- (2) 既存のデザインには頼らない。
- (3) チャイム前に授業準備をする。（物の貸し借りは禁止）
- (4) 人の作品を手伝わない、手伝ってもらわない。
- (5) 隙間時間を活用する。（スキマ課題）
- (6) 美術の道具一式を持ち帰るのは長期休暇期間のみ。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) 発想するための情報を集める。
- (2) 学習内容に関連したものに興味を持つ。
- (3) 情報を発想や構想に活かして表現したり、鑑賞したりできる体験を積み重ねる。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) テスト対策プリント内容の確認。（道具は持ち帰らない）
- (2) テスト範囲に含まれる内容に関連した事に興味を持つ。
- (3) 範囲として指定されずその場で考える問題は、落ち着いて問題をよく見てよく考える。

### 5 3年生での学習内容（授業時間は、週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	デザイン：模様	10月	絵画：鏡の世界
5月	デザイン：模様	11月	絵画：鏡の世界
6月	デザイン：模様	12月	絵画：鏡の世界
7月	デザイン：模様 鑑賞：鏡のえほん	1月	鑑賞：世界の美術 立体：黒彫板ストラップ
8月	夏休みのため 授業なし	2月	立体：黒彫板ストラップ
9月	鑑賞：日本の美術 絵画：鏡の世界	3月	立体：黒彫板ストラップ

### 6 評価・評定について

評価とは、美術で身につけてもらいたい5つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

#### <観点別評価と評価材料>

**観点1** ・定期テスト  
・作品  
・ワークシート

**観点2** ・定期テスト  
・アイデア  
・作品  
・ワークシート

**観点3** ・定期テスト  
・作品制作過程、提出  
・授業への取り組み  
・作品完成シート

## 第3学年 保健体育

### 1 学習の進め方

- (1) ラジオ体操を行います。また、種目に応じて主運動に繋がる準備運動をします。
- (2) 集団行動を繰り返し行い、正しい整列や挨拶をできるようにします。
- (3) 小集団でのグループ学習で話し合い活動やアクティブラーニングを中心に進めます。
- (4) 必要に応じて学習カードやクロームブックを活用します。
- (5) 必要に応じて映像の活用や示範を行います。

### 2 学習（授業）上の注意点

- (1) 体調が悪い場合はすぐに伝えてください。
- (2) めあてを理解し、その達成に向けて取り組みましょう。
- (3) 用具の準備や片付け、環境整備をきちんと行いましょう。
- (4) 安全に留意して、真剣に取り組みましょう。
- (5) 学習した知識や技術を活用して考えたり話し合ったりしましょう。
- (6) 自分や仲間の動きを確認し、良い点や改善点について指摘できるようにしましょう。

### 3 家庭学習の進め方

- (1) 授業で学習したことの振り返り。
- (2) 映像を確認して、正しいフォームやポイントを押さえる。
- (3) 技術のポイントの確認。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) プリントの見直しや復習プリントの確認をしましょう。
- (2) ルールや用具、安全上の留意点を記述できるようにしましょう。
- (3) 種目のルールや特性について、具体的に記述できるようにしましょう。
- (4) 動きのポイントやつまずき、改善策について、具体的に記述できるようにしましょう。

## 5 3年生での学習内容（授業時間は、週3時間 年間105時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	陸上競技、体づくり運動	10月	バスケットボール、保健
5月	陸上競技	11月	ソフトボール、柔道
6月	体づくり運動、水泳、保健	12月	柔道、体育理論
7月	水泳	1月	サッカー
8月	夏休みのため 授業なし	2月	バドミントン、保健
9月	ハンドボール	3月	バドミントン

### 6 評価・評定について

評価とは、保健体育で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

#### <観点別評価と評価材料>

#### 観点1 【運動や健康・安全についての知識・技能】

運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基礎的な技能を身に付けることができる。

(評価材料) \*技能テスト \*ゲーム内評価 \***単元テスト** \*定期考査

#### 観点2 【運動や健康・安全についての思考・判断・表現】

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

(評価材料) \*授業中の動き及び発言 \*レポート \***単元テスト** \*定期考査

#### 観点3 【運動や健康・安全について主体的に学習に取り組む態度】

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとしている。また、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をしようとするとともに、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

(評価材料) \*授業中の動き及び発言 \*レポート \***単元テスト** \*定期考査

## 第3学年 技術家庭科（技術分野）

1 担当教員 須澤 浩一

### 2 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定
- (2) 作業の説明・諸注意
- (3) 作業
- (4) 片付け
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

### 3 学習（授業）上の注意点

- ・ 技術の授業は教室、木工室、金工室を使用します。
- ・ 授業でプリントを配布します。板書された用語などをプリントに書き込むだけでなく、先生の説明も書き込むようにしましょう。
- ・ 安全な実習にするため、先生の説明を聞くときは聞き、作業や活動に取り組むときは集中して取り組みましょう。
- ・ 授業の終わりに授業のまとめをします。各自、授業で学んだことを記入しましょう。プリントは基本的に毎回提出ですが提出しない場合もあります。いつでも提出できるようにしておいてください。
- ・ プリントは各自クリアファイルを準備してに必ずファイルします。プリントが返却されたらすぐファイルに綴じる習慣をつけましょう。

### 4 家庭学習の進め方

- ・ 授業では必ずファイルが必要になるので忘れないようにしましょう。
- ・ 授業のプリントを復習しましょう。

### 5 テストに向けての学習の取り組み方

- ・ 期末考査、学年末考査の範囲の教科書、授業プリントを中心に学習しましょう。

## 6 3年生での学習内容（授業時間は隔週1時間 家庭科分野とあわせて年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	生物育成① 【D情報の技術】 1-2 情報とコンピュータ	10月	2-1 双方向性のあるコンテンツによる問題解決
5月	1-3 情報の表現と伝達 1-4 情報セキュリティと情報モラル	11月	2-2 計測・制御のプログラミングによる問題の解決
6月	デジタル作品の設計と製作 はんこ	12月	2-2 計測・制御のプログラミングによる問題の解決
7月	デジタル作品の設計と製作 はんこ 生物育成②	1月	【Cエネルギー変換 D計測制御】 風力発電コンテスト ブレードの設計製作
8月	夏休みのため 授業なし	2月	【Cエネルギー変換 D計測制御】 風力発電コンテスト ブレードの設計製作 製作品の評価
9月	2-1 双方向性のあるコンテンツによる問題解決	3月	3年間の技術の振り返り <学習発表会>

### 7 評価・評定について

評価とは、技術で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

#### ★ 観点別評価と評価材料

##### 観点1 【知識・技能】

生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。

\* 期末考査 \* 学年末考査 \* 製作品完成度

##### 観点2 【思考・判断・表現】

生活について見直し課題を見付けその解決を目指して自分なりに工夫し創造している。

\* 授業プリントの記入内容 \* 工夫された栽培観察記録 \* 製作進捗状況

##### 観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

生活や指導について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。

\* 授業プリントの記入内容 \* 授業態度

### 8 備考（注意事項・アドバイスなど）

- ・ 技術では危険な機械や道具を使用することが多いです。授業では怪我をしないよう安全に実習・作業を行っていかねばなりません。そのために集中して作業に取り組みましょう。
- ・ 技術室は、他学年の生徒も使用します。使用後の整理整頓を常に心がけ、次の生徒が気持ちよく使用できるよう心がけましょう。

## 第三学年 技術家庭科（家庭分野）

### 1 学習の進め方

- ・家庭科の授業は、教室、被服室を使用します。
- ・毎時間、ワークシートを配布します。板書し、先生の話聞いてメモをします。
- ・授業の終わりには、今日のまとめを記入したワークシートを提出します。
- ・実技実習では、裁縫道具が必要です。

### 2 学習上の注意点

- ・チャイムと同時に挨拶ができるよう、準備や教室移動を行う。
- ・実技実習では、安全を第一に集中して取り組む。
- ・裁縫の実技があるので、玉どめ、玉結び、スナップボタン付けができるように復習しておく。

### 3 家庭学習の進め方

- ・学習した内容を家庭で実践する。
- ・授業ワークシートを参考に、教科書を復習する。

### 4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・授業ワークシートや教科書を復習する。実技の流れを確認する。

### 5 3年生での学習内容

（授業時間は各週1時間 年間技術分野とあわせて35時間）

月	学習内容	月	学習内容
4月	幼児の生活と家族	1月	家族・家庭や地域との関わり
	① 幼い頃を振り返ろう	2月	① 家庭生活と地域との関わりを考えよう
5月	② 幼児の体の発達について	3月	3年間の学習まとめ
	③ 幼児の心の発達について		
6月	④ 幼児の生活習慣の習得について		
	⑤ 幼児の生活と遊びを知ろう		
7月			
9月	リメイク小物の製作		
10月	生活の課題と実践		
11月	持続可能な社会		
12月	家族・家庭や地域との関わり		
	①家庭生活と地域のかかわり		
	②地域にクラス高齢者		

### 6 評価・評定について

評価とは、家庭科の学習で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

#### ★ 観点別評価と評価材料

##### 観点1 【知識・技能】

- \* 定期考査、縫い方の実技検査、ワークシート、その他状況に応じて課される提出課題。
- \* 布を用いた製作における取り組み姿勢や完成品。

##### 観点2 【思考・判断・表現】

- \* 定期考査、ワークシート、教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題。

##### 観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

- \* 授業への取り組み姿勢、よりよい生活の実現のために課題を主体的に解決している。
- \* 授業ワークシート、その他状況に応じて課される提出課題。
- \* 製作計画

# 令和8年度 小平市立小平第四中学校 教科シラバス

## 第3学年 外国語(英語)

### 1 担当教員

田村 香織(週3時間) 北見 まり子(週1時間)

### 2 持ち物

5点セット(教科書、ワーク、読みトレ、A4 ファイル、ノート(授業用))

「いつも通り」と言ったら 5点セットのことです。学校に基本的には置いておいていいですが、自己責任です。自分で計画的に持ち帰り学習しましょう。クロムは授業で使うときがあるので充電し、準備しておいてください。

### 3 3年生の学習内容(授業時間は週4時間で年間140時間)あくまでも予定です。

月	学習内容	月	学習内容
4月	Starter, Lesson1, Listen1, Talk1	10月	Lesson6, Project 2, Reading Lesson 2
5月	Lesson2, Listen2, Talk2、	11月	Lesson7, Listen5, Read1, Lesson 8、期末テスト
6月	Lesson3, Listen3, Project, Reading, 期末テスト	12月	Lesson 8、Project 3, Reading Lesson 3
7月	Lesson4, Listen3, Talk3	1月	3年間の復習
8月	夏休みのため、授業なし	2月	3年間の復習、学年末テスト
9月	Lesson5, Listen4, Talk4, ,Reading, Lesson 6 中間テスト	3月	3年間の復習

※パフォーマンステスト、単元テスト、リスニングテスト、小テストの日程は授業プリント、掲示等でお知らせします。

### 4 評価・評定

観点1(知識・技能) 観点2(思考、判断、表現) 観点3(主体的に学習に取り組む態度)

の3観点で評価します。

評価は3段階の A(80%以上), B(50%以上~80%未満), C(50%未満)

評定は5段階 5(90%以上) 4(80%以上~90%未満) 3(50%~80%未満) 2(20%以上~50%未満) 1(20%未満)です。

評価材料は定期テスト、パフォーマンステスト、単元テスト、リスニングテスト、小テストです。

小テストはまた後日伝えます。

### 5 授業プリント

欠席したときは授業プリントを必ず担当の先生に後から自分でもらうこと。自分の席にプリントは入っていないことがあります。成績にかかわってくるので注意しましょう。授業では帯活動(毎回短時間くり返し行う学習)として song、会話、読みトレなど予定しています。Song は月ごとに変ります。

### 6 ワーク&ノート

ワークは提出物の一部になります。ワークは試験範囲になりますので自分で計画的にワークをすすめてください。EWN は1学期のみ提出してもらいます。また、英文を書くことも自分でコツコツと取り組んでください。添削を希望する人は見ますので、提出してください。

### 7 単元テスト

単元が終了するごとにテストをします。教科書の流れに沿って進めていきますが、時間の関係でまとめて2つの単元をすることもありますので自分で計画的に勉強してください。採点は部分点ありません。単元テストは定期テストと同じ扱いになります。カンマ、ピリオド、大文字、小文字、クエスチョンマークなどぬけていてもすべて×です。まめに単元の復習をしましょう。

### 8 リスニングテスト

2年生の時にやったことと同じです。定期テストでも行います。2年のときより回数が増えます。1つの単元で2回ずつテストします。単元テストと同時にやる場合もありますし、授業の中でテストすることもあります。定期テストでもします。

### 9 パフォーマンステスト

ALTと評価します。内容、日程は後日授業プリントでお知らせします。帯活動で練習します。

### 10 注意事項

単元テスト、リスニングテスト、パフォーマンステストを欠席した場合、登校後、すぐに申し出てください。可能な限り実施していきます。3年は単級です。